

# 五世代に愛される学園へ

帝塚山学園理事長 吉川 勝久

## 1 街づくりと共に

昭和16年4月、学園が創設され帝塚山中学が開校しました。翌年3月には学園前駅が設置されました。その後、昭和22年に学制改革により新制中学校が設置、翌年の昭和23年に新制高等学校を設置、昭和27年に幼稚園開園、小学校開校、昭和36年に短期大学開学、昭和39年に大学開学、昭和40年に東生駒キャンパスが誕生、昭和43年東生駒駅設置、平成3年大学院設置、平成16年、短期大学を改組し4年制大学へ、そして、平成18年に2歳児教育がスタートしました。

今日の学園は、近鉄の代表的住宅開発と共に発展してまいりました。特に、学園前キャンパスは、総合学園として駅前まで至便、しかも同一敷地内にあるという立地は、日本でもめずらしく、学園の教育連携にも大変優れた環境であります。また、子どもたちの通学についても安全を確保した教育環境を提供しています。

## 2 帝塚山ブランドを築く根幹

これまで学園は、2歳児教育・幼稚園から大学・大学院まで、それぞれの発達段階に応じた特色のある教育を展開してまいりました。戦時中、そして戦後の厳しい時代から、経済復興を果たし、高度成長、バブル崩壊と様々な時代を経て、今日まで時代の変化に呼応しながら一貫して、人間性、人柄、そして

品性を培うことを重んじた教育を続けてまいりました。この間、地域とのつながりや兄弟、姉妹、二代、三代、四代と世代を超えて受け継がれ、愛される総合学園として存立し続けて来られましたことこそが「帝塚山ブランド」を築く根幹であり、学園の最大の強みであると感じております。

### 【建学の精神】

社会に有為な人材を育成する

### 【教育の根本理念】

「子供や若い人達は学園の宝」

- ・人間性を養う
- ・よい人間をつくる
- ・よい人柄をつくる
- ・よい品性を培う

### 【帝塚山教育】

- ① 心も身体も伸び伸びと伸ばす教育
- ② 個性が尊重され、いかされる教育
- ③ 情緒ゆたかで情操を高める教育
- ④ 実践力のある人間をつくる教育
- ⑤ 世のために尽くそうとする精神の涵養
- ⑥ 自主独立の精神と自ら学ぼうとする意欲の養成
- ⑦ 国際的な広い視野を育む教育

## 3 有為な人材育成こそ使命

2021年度、帝塚山学園は創立80周年を迎えます。平成28年度（2016年度）を初年度とする「第4次中期計画」の最終年度となる平成33年度（2021年度）は、学園創立80周年にふさわしい姿で迎えるべく、各学

## 4 愛され続ける学園として

創立80年を契機として、その先の未来も古都奈良と新しい街とが見事に調和した美しい環境の下で、総合学園としての強みを発揮し、次のような未来の学園を創りたいと考えます。

○教育の根本理念である人間性、人柄、品性を養い、培うことを重んじることや幼少期から帝塚山学園で育ち、誇り高く、また、次の代も学園で育てたいと言っていただけで学園にしていくこと

○創立100周年には、園児・児童・生徒・学生・家族・保護者・育友会・同窓会など、二代、三代、四代、五代にわたり愛され続ける大帝塚山ファミリーとして拡大・発展していくこと

私は、子どもや若い人たちが根っこを育み、鍛え、人間形成を成していくことを願い、社会に有為な人材を育成するという「帝塚山ブランド」を一層磨いてまいりたいと思っています。

関係者の皆様には、今後共、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 【2歳児教育・幼稚園】

生きる力の基礎と学びの基礎の育成を行うこと

### 【小学校】

人間力の基礎づくりと21世紀型スキルの育成を行うこと

### 【中学校・高等学校】

人間力の育成と個々の進路を実現する教育の推進

### 【大学】

実学教育の実現と地域・社会のニーズに対応した人材の育成

### 【各学園・法人本部】

教育連携の強化

これらを実施し続けることで、帝塚山学園として園児・児童・生徒・学生に社会的に必要なとされる価値やスキルを身に付けさせることができ、社会的使命を果たせる人材を育成できるのではないかと考えています。